

若林三成校長先生
万寿小学校の皆様

香港小では、8月23日から2学期が始まり、また、子どもたちの元気が学校に戻ってきたところです。みなさんお元気にされていますか？秋の運動会に向けて練習も本格化してくる頃だと思います。暑い時期ですので、お体を大切に本番での成功に向けてがんばってください。



【香港日本人学校小学部香港校】

香港日本人学校は、全校児童が439名。3年生が2クラス、他の学年は3クラスの全17クラスです。特別支援学級はなく、特別支援対応の教員4名が個別に各学級への支援に入っています。1～2年は弾力的に30人学級、3年生以上は35人学級です。教職員は文部科学省から派遣されている人が17名、学校採用の人（日本の講師のような立場）が10名、英会話の授業を進めるイングリッシュスタッフが6名（イギリス・カナダ・アメリカ・NZ・アイルランド）、その他事務局のスタッフ6名、清掃を担当する女性の方6名、学校バスの運転手6名、警備員2名、水泳のライフセイバー2名など総勢約60名です。校内では日本語・広東語・英語で交流しますが、私はほとんど日本語と笑顔で交流しています。

ちなみに香港には日本人学校が3校あります。中学部1・小学部2（香港校と大埔校）。3校合同の研修会やスポーツ交流会も開催されます。

【学級の様子】



私は今年度、第2学年を担当しています。2年生は3クラス、1クラスの児童数は20名です。6月に1名が帰国し、19名。7月には「日本人学校体験入学」という制度があり、香港の他の学校（地元のインターナショナルスクール）から3名の体験生を迎えました。近隣のインターナショナルスクールは6月末で学校が夏休みに入るのので、全校で50名程度の体験生が7月の1ヶ月を日本人学校で過ごしました。体験を経験したあとで、2学期から転入し

てくることもあるようです。外国ならではの面白い制度だなあと感じました。

久しぶりの低学年を担当している私は、昨年度までよりも少し優しくなりました（と思います）。岡山弁も子どもたちには通じないので「そんなことしてて、いいのかなあ？」「きちんとしようねえ」「用意はいいですかあ？」と、ちょっと体の一部がむずがゆくなるような口調で授業・生活指導を進めています。「おめえらあ、なにしょんなら～」「はよ～せにやあ～間に合うまあがあ～」なんて、一切使いません。使っていません。いや、時々使うかな？

【子どもたちの様子】

子供は万寿小学校と(日本と)ほとんど同じです。勉強が得意な子もいれば苦手な子もいる、何でもできる子もいれば、たくさんの苦手を抱えている子もいる。でも、転勤や異動で友だちや先生との別れをたくさん経験しているせいか、人との関わりを求めている子、友だちに優しい子が多いように感じます。

児童の登下校はほとんどがスクールバスです。(一部、タクシーや自家用車で通学している子もいます。) 8時前後にバスで登校し、給食はなく、全員弁当です。3時半頃バスで下校しますが、放課後はそれぞれ習い事などで忙しくしているようです。習い事の種類は、学習塾(日本人向けのZ会や明光義塾など)、英会話、ピアノ・バイオリンなどの楽器(YAMAHA)、新体操、サッカースクール、テニスクラブ、少年野球(硬式)、バスケットボール、習字、絵画、カンフー、太極拳などです。日本人向けの教室に参加している子もいれば、香港人や欧米人と一緒に活動している子もいます。



【日本の公立学校との違い】

日本と大きく違うところは、公的な日本人学校として認められながらも、基本的に「学校運営理事会」が運営する私立学校だということです。保護者から学費を徴収して学校を運営しているので、それに合うだけの教育を準備するため、派遣されている先生方は日本にいたとき以上に時間もお金もかけて教材研究や授業準備に取り組んでいます。私も負けずについて行くのがやっとな感じます。先生方は本当に意欲があり、実力や経験がある人が多いなあと感じます。職員室の雰囲気は万寿小学校と同じくらいすばらしいですよ。でも、イングリッシュスタッフの先生たちは「日本の先生は働き過ぎ、友だちや家族との時間も大切にしないと」とよく言います。ほんとにその通りだなあと感じます。万寿小学校の先生方もたまには早く仕事を切り替えてしっかりとリフレッシュをしてくださいな。自分のためにも家族のためにも(「おまえに言われたくねーよ」とつつこまれそうですが。)

また、一部独自のカリキュラムで授業が進んでいます。「総合的な学習の時間」は日本と同じような校外活動を進めることが難しいため、内容のほとんどを英会話に組み変えています。1～6年生まで毎週3時間の英会話の授業があり、子どもたちの英語のレベルはかなり高いです。英語の能力別に6クラスに分かれてネイティブの先生から英語を習います。私の英会話のレベルだと、下から2番目くらいのクラスに入ることになります。約10年学校教育で英



語を勉強していたのに、会話が成り立たないもどかしさを思うと、このカリキュラムもいいのかなあと感じます。

こちらは3学期制です。久しぶりに夏休み前に通知表を仕上げました。すべてコンピューターによる打ち出しで手書きをするよりは楽だったのですが、パソコン担当なのでソフトの不具合などの対応で結果としては忙しくなっていました。

また、学校の校庭は万寿小学校の体育館下くらいの広さのコンクリートです。狭い上に香港は湿度・気温ともに暑いので、体育も休み時間もあまり校庭が機能しません。毎週3時間の体育は、①プール②体育館(クーラーあり)③校庭ですが、雨も多く週2時間くらいになることが多いです。プールは5月から2月までずっと入ることができます。ちなみに温水プールで校舎の地下にあります。

学校であまり運動することができないので、近くのグラウンドを使って校外体育を行います。日本人学校からハッピーバレー競馬場までスクールバスで約20分。競馬場の中にあるグラウンドを使って学年体育を行います。50m走も学校の校庭では測定できないので、外のグラウンドを借りて測定しました。当然、運動会は近くの競技場を借りて行います。ちなみに9月の実施です。やっぱり運動会は秋ですね。

通勤には公共機関(バスや地下鉄)を利用しています。自宅から学校までは徒歩とバスで30分くらいです。今は自宅を6時半に出発して7時過ぎに学校へ到着しています。帰宅はだいたい午後8時~10時くらいです。車を自分で運転することはありません。



山本家ですが、長男(中学2年)は香港日本人学校中学部へローカルバスを使って自力で通学し、長女(小学6年)と次男(小学3年)は小学部へスクールバスを利用して通学しています。それぞれに新しい友だちもでき、楽しく生活をしています。妻は小学校のPTAの役員になり、がんばっています。

香港の街の様子については、また次回のおたよりでご連絡させていただきたいと思えます。お伝えできるほど香港のことをわかっていません。でも、一面だけでは図ることのできないバラエティーに富んだエネルギッシュな街だと言うことは感じています。休みを利用してしっかりと社会科見学をしていきたいと思えます。

どんな仕事も「はい！わかりました！」と気持ちよく引き受けて前向きに取り組み、しっかり身につけて帰りたいと思えます。



↑ 毎日の通勤路を加藤清史郎くんが見守ってくれています。

↓ 校外活動「砂の造形」 レパルスベイビーチにて



香港日本人学校小学部香港校 山本純平